

ARTS for HOPE 活動報告書

2015年2月6日～10日

①2月6日／福島県福島市 福島県立医科大学附属病院「Happy Doll Project」の実施

＊Wonder Art Production主催事業

福島医大の院内学級（須賀川養護学校医大分校）の交流会「親子集会」からお招きを受け、プログラムを実施しました。「心待ちにしていました！」と先生たち。学級に出てこれない子どもたちはお母さんと一緒に病棟のランチルームに集合。Happy Dollが始まった2006年に訪れてから、4回目、5年ぶりの訪問でしたが、長期入院の子どもたちの成長した姿と再会することも出来ました。「本当に楽しかった！」「またやりたい！」そんな嬉しい感想が飛び交ったあっという間のプログラムでした。



②2月7日／宮城県仙台市 仙台市福祉プラザ
「Happy Painting Project & Happy Doll Project」の実施

『みやぎのろう教育を考える会』からご依頼をいただき、アートプログラムを実施しました。
バレンタインデーにちなんでテーマは“愛”。聞こえる子どもも聞こえない子どもも、お母さん
やお父さんもみんなで一緒に、ハートをモチーフにした作品づくりを楽しみました！



参加してくれたのは赤ちゃんから
高校生まで、幅広い年齢層の子
どもたち。福祉大学や福祉専門
学校の学生ボランティアさんたち
もフェイスペインティングで子ども
たちを出迎えました！





バステルを削り、自分たちで絵の具をつくる過程から始まった“Happy Painting”。絵の具作りに熱中し、真剣な眼差しで飽きることなく色を塗り重ねていく子どもたちは、まさにアーティスト！優しい色合いのとっても素敵な共同作品が完成しました。



Happy Dollコーナーではお母さんも夢中に。素敵なハートの作品ができました。



差し入れ？のダンボールで急速ダンボールハウスづくり！あっという間に基地が完成し、子どもたちは出たり入ったり・・・



ほかの会場ではダンスなどの別企画も同時開催。最後はそれぞれの作品発表会でフィナーレとなりました。

③2月8日／宮城県女川町 新田仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

サノフィ株式会社との協働プログラムとして、女川町民の方が暮らす3ヶ所の仮設住宅でHappy Doll Projectを実施しました。1日目は初めて訪れる新田応急仮設住宅。震災前は異なる地区に住んでいたとは思えない住民の皆さんの仲睦まじさに、この4年間をともに過ごし支えあってきた強い絆を感じました。みんなで一緒に笑うことにはすごいパワーがある。そのことを改めて感じたプログラムでした。



④2月9日／宮城県石巻市 蟹田仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

サノフィ株式会社との協働プログラム、2日目の午前中は初めて訪れる蟹田仮設住宅。創作意欲に満ちた住民の皆さんは席に着くなり制作をスタート！プロジェクトの説明もままならないままぐんぐんと進んでいき、気がつくとも素敵な作品が出来上がっていました。「また来てねえ」と全員で手を振り見送ってくれた住民の皆さん。支援員さんも驚くほど大きな反響でした。



⑤2月9日／宮城県石巻市 石巻バイパス仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

サノフィ株式会社との協働プログラム。2日目の午後は2回目の訪問となる石巻バイパス仮設住宅の東集会所。仮設を去る人がいれば、災害復興住宅の抽選に何度も落ちてしまう人もおり、最近体調を崩される方が増えていると支援員さんが仰られていました。町では来月の女川駅開通に向け、昼夜問わず急ピッチの工事が続いています。



⑥2月10日／福島県相馬市 福島県立相馬養護学校「Happy Doll Project」の実施

創作活動を通じた交流を目的とした授業の一環として、福島県立相馬養護学校でHappy Doll Projectを開催しました。それぞれに輝く個性を持つ3年生から6年生までの子どもたち。どんなHappy Dollが出来るのかドキドキワクワクしていましたが、子どもたちが好きなものや好きなことがそのままかたちとなったような、とっても素敵な作品が誕生しました！





短い時間でしたが、お別れ時にはぎゅつとつかんだ手を離さない子、悲しみを体いっぱいに表示する子も。豊かな感情を持つ子どもたちとの忘れられない90分となりました。